

IV 資料

1. 自由意見

自由意見として記載のあった、男女共同参画社会や男女間の暴力についての意見・要望など 121 件の中から抜粋して掲載する。

〔男女共同参画社会について〕

- 男女共同参画社会といっても、その人の生活スタイルで、人それぞれの考えで助け合って生きてゆかねばならないと思います。(60 歳代女性)
- まだまだ日本という国は考え方が古いため、男女間の問題、嫁姑問題で女性の再就職は難しいと思う。逆にもっと男性の育休制度などを充実してほしい。いくら制度があっても、世間体を気にする男性は少なくないと思うし、1 日からとれる育休を作してほしい。(20 歳代女性)
- とても難しいと思います。平等になったことで、仕事は男並み、仕事に甘えや家庭の事を持ち込めない中で、家庭に帰ったら今までのように家のことは女性任せ。何だか納得がいきません。(50 歳代女性)
- 私は 30 年間専業主婦です。不景気で給料が下がった時は子供 3 人、5 人家族の生活は苦しかった。でも頑張って働いてくれる主人にはとても感謝しています。ずっと子供たちのそばにいてくれてきました。娘 2 人にも家庭に入り子供を見てやってほしいと思います。(50 歳代女性)
- 朝早くから夜遅くまで子供を見てくれる施設を作り、女性が心配なく働けるようにするべきです。(60 歳代女性)
- これから自営業をしたいと思っていますが、周囲の人から「まだまだ女性ということで下に見られることが多い」と警告されることがあり、せっかくの資格を取っても本当にやっていけるか不安になることがあります。ただ、女性だから、男性だから、というのではなく、その人の個性や実力に注目してもらえるように、1 人 1 人の努力が大事だと思います。(30 歳代女性)
- 政治家達が考える事はきれいごとばかり。各団体のトップと意見交換することはあっても、一般人と関わりを持つことがほぼ皆無。本当に苦勞・苦悩している人たちに正面から接触すべき。(40 歳代女性)
- 法律的な平等は良いと思うが、機能的には平等でなく能力差がある。男女共同参画と言いつぎ、権利のみが先歩きしている。メディアの影響が大きいと思う。社会全体が適材適所、女性も男性も使い勝手の良い分野で活躍できる感じになってほしいものです。男性にしか出来ないこと、女性にしか出来ないことを大切にしていっていきべきではないでしょうか？(30 歳代男性)
- 働きたい女性の為に、子供を見てくれる病児保育環境の充実が必要だと思う。子供が病気になっても働いている母親はダメとだと思われ、父親が子供の面倒をみていると「母親はどうしたの？」と思われる。(30 歳代女性)
- 男女を問わず、自他共に人権を守る視点を広めることが重要だと思います。潜在的な差別(男女・経済・出自・能力)からの開放ができるとういのですが、弱い所へ圧力がかかっているように思えます。自分自身も気づかずに差別・暴力に流されていっている気もします。(50 歳代女性)
- 保育、介護施設などの充実を図り、女性が働きやすいように環境を整える必要があると思われる。(60 歳代男性)
- 他の土地では共同参画のイベントによく参加していましたが、香川は一般の人が自由に参加できる会が少ないし、開催される情報がないように思います。(40 歳代女性)
- 才能のある女性は、どんどん社会に出て認められるべきだと思いますが、比較的若くても「男尊女卑」的な考え方をしている人もいると思います。そういう人は男女参画社会を頭では理解していても、根本的な考え方はなかなか変わらないように感じています。(40 歳代女性)
- 今回のアンケートを途中から書くのがイヤになりました。男女共同参画の意味は何なのか？女性の社会進出の増加と離婚率上昇が正比例している事実を分かっていますか？女性が社会進出し、保育所の時間延長などで子育ての外注化を促進し、女性も自立することで家庭内での柱が無くなり結局離婚。本当に子供たちのことを真剣に考えているのであれば、もう少し違った方面に力を入れるべきだと思います。(40 歳代男性)
- 働きたいのに、子供が小さくて働けない人も多いと思います。保育園も混んできているし、病児保育など、まだまだ課題は多いと思います。子供がいても働きやすい社会にはまだなっていないよ

うに思います。(30歳代女性)

- 男女はフィフティフィフティであり、差別なく認めあって社会が成り立つものだと思う。社会では格差が拡大して、人としての基本的常識の欠落した人が多いのには、何とかならないかと思っています。子供を一人前の社会人に育てる親の責任が非常に大きいと思う。お互いを尊重し、喜びや痛みを理解し合うような点が未熟なまま、エリート教育に一生懸命になっているのを見ると、抜け駆ける行動に見える。(60歳代男性)
- 男女共同参画と言われて久しくなるにもかかわらず、その機会や必要性を発揮する場面が少なすぎる。自営業の運営にかかわっておりますが、女性の考えを伝えても結果が返ってこないことがよくあります。残念でなりません。(60歳代女性)
- 私の時代は育休もなく仕事を辞めざるを得ない状況でした。仕事を辞めた私達は、子供が大きくなって働こうとしても雇用されることは難しい。少しでも雇用の循環をよくしてほしい。男女平等は大分浸透しているが、女がかなり優遇されているような気がします。男女平等より、1つ1つの世界にあまり格差のないほうがいいと思います。(40歳代女性)
- 男女がそれぞれの特徴を生かしていけるような男女共同参画社会が理想だと思う。また、制度があっても、それが実行できているのかということが大事だと思う。これから社会人になるにあたって、育児休業制度などはうわべだけのことで、実際にちゃんととれるのか、不利にならないのか不安です。(20歳代女性)
- 男女の違いはあると思います。どちらが優るというものでなく、子供の頃から学校等でも教えることもひとつの条件だと思いますが、取り立てて女性を優遇することもなく、自然に共同参画できている世の中になってほしいと思います。(60歳代女性)
- 意識調査も結構なことですが、現社会において男性のやたら内向的な側面が非常に気になります。(60歳代男性)
- 20年前と比べると大分制度もよくなっているとは思いますが、なかなか会社などでは活用しづらい風潮がある。男性の多い会社ほどそう感じます。社会の意識改革が必要と感じます。(40歳代女性)
- 子が生まれると、親の自覚を持つ教育を、学校・地域・家庭社会でしっかり行う必要がある。一つの命を大切に思うことから、男女共同参画社会が充実するのでは。(70歳代以上女性)
- 学校教育や生涯教育での基礎的な教育が必要。本能的には男性は女性を守るという。これは変えられないが、意識は変えられる。ただ、かつて家長が男だった時代は、家族が1つになっていたような気がする。まとめ役は1人の方がよい。要はその質である。(50歳代男性)
- 人に頼るのではなく自身でこの問題を考えることが必要と思います。女性の社会進出については、雇用に関しては企業の対応不足、社会活動については女性の積極的な参加が必要であり、行政やシステムによって誘導されるべき問題ではない。(70歳代以上男性)
- 地域性も含めて依然男性優位社会と感じます。母親（特に幼い子供を抱える）が働く環境は厳しく、辛いものがあります。経済的な面も含め、少子化問題を改善するには意識改善が必要と考えます。表面だけの周知や啓発などではなく、現実をみて対策を行ってほしいと切に願います。(30歳代女性)
- 子供ができ、勤めていたこともあって保育所へ。でも収入に応じた保育料となっており、かなり高かったと思います。そんな高い保育料を払ってまで、と仕事をやめ育児に専念したのですが、また再就職と思った頃、下の子が生まれ、再就職する元気もなくなってしまった今日この頃です。今思えば、最初の仕事を辞めなければ、がんばっていったのではと後悔しています。その時保育料が安ければ、夫との家事・育児の協力etcがあればこそだと思います。(40歳代女性)
- 現在の状況は、やはり男性のほうが仕事を持って生活している方が多いと思います。結婚して子供が産まれると、女性はそちらに多くの時間を使います。その後再就職といってもパートになりがちで、同じように賃金はもらえません。これからは、自分のできる範囲で社会に出て行きたいと思います。(40歳代女性)
- もう一度世の中を見直すべきだ。男女平等は時と場合による。子供を産むのは女性の役割、大きくなるまでは、ちゃんとそばにいて見守ってやるべき。そうすれば、いじめ等にも気づくはず。(40歳代男性)
- 職場において能力のある人や頑張った人は評価する。しかし個人の力とは社会、環境とのかかわり抜きにしては、測ることも、評価することもできない。効率性と作業性を優先する社会は、違いを排除し同一性を要求します。わたしたち男女の力は社会のあり方によって既定されている。このことを理解し改革しなければならない。(50歳代男性)
- 男女にはそれぞれ得意分野があり、均一的な男女平等はかえって差別を生むように思います。平等とは、それぞれの得意分野での評価が正しく行われることであると思います。十分な論議が必

要でしょう。(40歳代男性)

- 結局、会社が産休を疎ましく思ったり、産休明けて仕事復帰した人を大切にできる気がなければ、誰も仕事をしながら子供を産みたいとは思わない。行政がすることは、会社で産休をとる人がいても、損をせず快く送り出せる仕組みを作ることだと思う。あと、いろんな時間帯で働く人が利用できる保育施設。(30歳代女性)
- 自身の親を見て育っているから、どうしても女性は家を守り、男性はお金を稼ぐということが常識のように思っています。年代が、時代がそうさせるのかなあとと思うけど、たとえば両親ともが仕事をしていたら、子供に接する時間が少なくなっていくと思います。(40歳代男性)
- 女性を受け入れる側も、女性自身も片寄った知識や、思想にしばられないことが大事だと思う。男性は年齢がある程度になると重要な仕事を任されるが、女性は軽視される場合が多い。確かに逃げ道があるので(家庭または女性だから)そういう風に軽視されてもしかたがないが……。男性だから女性だからという枠を取り払う、社会全体に対しての意識改革。女性だからこれ位で良い、という考え方を考えるような活動が必要だと思う。(40歳代女性)
- 10人以上を雇用する企業では、30%以上女性を雇わなければならない等のしほりをつけるのはどうだろう。(40歳代女性)
- 産休後の女性の再就職は難しいと思います。子供の急病や家庭の用事などによる欠勤は仕方ないと世間では考えますが、会社側からするとその度に仕事に穴をあけられることになるので、非常に迷惑です。度々休む人に責任ある仕事を任せる気にはなりません。女性の管理職が少ないことも当然の結果です。また、独身(もしくは子供のない)女性で仕事を頑張る人に対しては、周囲の目が冷ややかです。国民一人一人の意識が変わらない限り、男女平等はありえないと思います。(40歳代女性)
- 「ジェンダーフリー」「共同参画」という名の下に平等ばかりを強調するあまり、非常に恥ずかしいと思えるような服装やふるまいを何とも思わない女性(特に若年層)がとて増えている。また家庭や社会においても非常識で自己中心的な発言をする女性はとて多い。同性の目から見て腹立たしい思いをすることがどんどん増えている。なるほど女性が社会進出をすることは素晴らしいことだと思うが、その前に「人」として身につけておくべき常識的なことがおろそかになっている。このままでは、次世代は目を覆いたくなるような状態になることは想像に難くない。(40歳代女性)
- 仕事が出来ない男、家事が出来ない女、反対に仕事出来る女、家事が好きな男が増えている。社会的に時代の変化に対応したシステム作りが必要。(20歳代女性)
- 育児や介護についての公的サービスを強化していく。まず、公務員の長、政治家の長、企業の長を女性にすること。育児休暇などを「取らなければならない」「取らせなければならない」制度を作る。(40歳代男性)
- 社会的通念は徐々に男女共同に向いているように思われるが、それぞれの属するコミュニティにより違っていると思う。また女性の方にもあきらめてような、抑えられたまま仕方がないといったような雰囲気も感じられる。男女それぞれの違いも認め、お互いに得意とする部分で頑張ればそれでいいと思う。全く同じである必要はないと思う。(30歳代女性)
- 地方では女性が男性ほどの収入を受け取ることはまだ難しいです。だから家庭に入らないといけない空気になります。1人っ子だと親の面倒も誰の手伝いも借りずにすることになる。外との交流が無くなり辛い生活です。もっと男女関係なく、できる人がするように考えられるような教育をお願いしたいです。(30歳代女性)
- もっと保育サービス(施設増やす、保育料費用の軽減など)を充実してほしい。職場内でも帰宅しやすくするなどの雰囲気がつくれるよう、経営者側、上司側に対する教育を指導してほしい。(母親だけでなく父親、男性も帰宅しやすくしてほしい。)(30歳代女性)
- 男女共同参画といいつつ、なかなか出来ないのには偏った考えがあるからだだと思います。家庭からはなかなか難しいものがあるので、教育現場でやってほしいことだと思います。社会全体の考え方が変わらないと無理な話だと思います。(40歳代女性)
- 法律、制度、地域でできるような形を取らないと、仕事をしたいと思ってもできないと思う。(50歳代女性)
- 人それぞれ勤める会社によっても色々なので、何とも言えない部分があります。家事も私は嫌いじゃない方なのでそんなに苦ではないけど、好きじゃない人や苦手な人には大変そう。だからと言ってフルタイムで仕事しながら、家事も全部任されるのはおかしいと思うので、働いている時間にもよると思う。私は力が無いので力仕事は無理だし、年齢によっても昔より格段に体力が落ちているので、家族の協力は不可欠だと思います。(30歳代女性)

- 20年以上前と違い、最近はいろいろな法律等もできていて今の時代はありがたいと思うが、なかなか実行するとなると難しいように思われます。(60歳代女性)
- 男性又は女性が働き、他方が家を守るのも男女共同参画と思う。(50歳代男性)
- 家庭内でよく話し合うべき。(70歳代以上男性)
- 職場においてはトップはほとんどが男性のため、出産・育児において理解が得られない。分かっているようで全く分かっていないので、このようなトップに育児研修をしてもらえばいいのではないか？こんなに育児と仕事の両立が大変なのかを理解して貰えると思う。職場にそのような理解ができる管理職(出産・育児を経験した女性)を置くように努めてほしい。相談窓口も設置してほしい。(30歳代女性)
- 子供がいると、急な病気で欠勤せざるを得ないことなども考えると、新たに仕事を探して働くのには躊躇してしまいます。あまり働く必要がないけれど働きたい気持ちはあり、でも子供が小さいので一緒にいてしっかり育ててやりたいと言う思いが強いので働いていませんが、無理のない範囲内で少しずつでも働けるような支援システムが充実していると良いと思います。(30歳代女性)
- 結婚するまでは女性の不利な面ばかり目に付いて、とても理不尽だと感じていたが、結婚してからは、女性に不利な面は確かに依然としてあるけど、優遇されている面もあって、男性も不利な面があることに気づくようになった。例えば結婚・出産で女性が仕事を辞めなければいけなくなる場合も多いが、女性にはライフプランニングとして、仕事を続ける、やめて仕事を持たない、パートをするなど障害はあれども選択肢があるが、男性には仕事をする以外選択肢があまり用意されていない。(20歳代女性)
- この意識調査は男性ではなく女性に聞くもので、しかも60歳迄の、現在子育てなどを行っている女性に問うものであると思う。(60歳代男性)
- 男女は常に平等であるべきだが、同質ではない。それぞれの長所、特徴を認め合い成長させて行くことだと思う。(年代性別無回答)
- 強い立場(上司、親、先生等)の人ほど気をつけなければならないと思います。子供、部下はそれに習うと思います。教育しなければならないのは、特に今そういった方々です。(40歳代女性)
- 現在の問題は40歳以上のいわゆる「大人」達の偏見により成り立っているので、まず大人達の考えを改めるような政策を行う必要がある。(30歳代男性)
- 男女平等もいいですが、男性にしか出来ないことも女性にしか出来ないこともあるので、均等ばかりを重視するのはいかなものかとも思います。(40歳代女性)
- 男だ女だと分けたこのような質問は疑問だ。要は人間としてどう生きるかの問題である。自己を確立し、自立し他を思いやり社会生活を営む。あたり前の事ではないか。(60歳代性別無回答)
- 団体の女性リーダーの中には偏った考えを持っている人もいます。(50歳代女性)
- 職場(社会)はまだまだ男性優遇だと思っている。上司、年配者がいる限り男女共同参画は実現しないと思う。夫は職場で心身ともにボロボロになるまで働かされたり、帰宅後は家庭の役割を妻からおしつけられては、DVもありうると思う。夫婦共働きの場合は、心と時間のゆとりがない状態で、子供の育児やしつけがうまくいくはずがなく、情緒不安定な暴力を振るう子供に育ててしまう。社会全体で意識改革、環境改善等が実現されない限り男女の役割分担が必要。女性の社会進出や男性の役割分担参加はなかなか難しいと思う。(60歳代女性)
- 女性が働きやすいように保育所の充実を図ること。育児休暇があたりまえにとれるよう制度化する。(70歳代以上男性)
- 世の中の環境が徐々に崩れてきている気がします。安心して生活ができるか老後が心配です。子育てがより良い環境の中で出来るのであろうか？女性が働くことは悪いことでもないが、やはり乳幼児期に両親の(特に母親)愛情を十分に(嫉も含めて)与えてないと、親子の絆が築けていけない気がします。(40歳代女性)
- 男女平等はとても良いことです。人間平等です。ただ、女性参画大いに結構ですが、やはり人間は一緒です。女性の方でも人の上に立ったとき、勘違いをされ「自分は偉い」と思うのでしょうか。人間は男女関係なく、上下に関係なく平等であればと祈るばかりです。(年代性別無回答)
- 学校教育での研修が大切である。大人になるまでの人格として備わっているべき常識である。(50歳代女性)
- 男女共同参画社会の形成や男女平等を過度に進めていくことは、少子化をどんどん進めることにつながると思う。そして少子化は社会の縮小につながり、国民一人一人の負担は大きくなり、望ましい社会は作れないのではないかと思う。法律を含めて、色々な整備を充実させた上で、男女共同参画社会の形成を図るべきだと思う。男女平等について、男と女は体の構造が違うものであ

り、黒人と白人の平等とは次元が違うものである。そこを本質として男女平等を考えるべきだと思う。(30歳代男性)

- 私は平等とは何もかも同じにすることではないと思う。極端な例だが、大きい男の子と小さい女の子がいて、二人に同じだけの量の食事を与えても、同じサイズの服を与えても、それは真の平等ではない。(60歳代女性)
- この様なアンケートこそが、男女共同参画社会に対する不安を助長するもので、今で男女平等になっているし、これ以上のことをすると必ず女性優位になる。全くナンセンス。(40歳代男性)
- 子供が大きくなって手がかからなくなり、お金がかかるようになって、職場に復帰したいと思っても、まだ学校行事や子供の病気等で仕事を休む必要が多々ある。子供の人数が増えると、その日数も増える。そんな状況を受け入れてもらえる職場はパートであるが、社会保険等には加入してもらえない。フルで働ける時期が来たら介護が必要なことが増える。また社員としても働けず・・・と悪循環になる人も多く、男女共同とはなかなか難しいと思う。パートなどでも仕事内容が社員と同じなので有給、介護休暇、社保の確保が必要だと思う。(40歳代女性)
- 女性の意識改革が必要である。段階的に進めていく必要があるだろう。急激な変化は逆効果になることが多い。会社の中では、企業の上層部の意識改革が必要である。(60歳代男性)
- 男女共同参画社会が叫ばれてから久しく、結果、結婚しない女性が増えたのではないかという思いがしています。独身のキャリア女性は男性社会の中でも頑張っている環境が整ってきていると思いますが、出産・授乳は女性にしかできないこと。母親がゆっくり子育てした後に社会復帰できる環境を作っていくことが、少子化の歯止めになるのではないのでしょうか。出産は女性、育児や家事・介護は男女で、の社会的な位置付けをもっと高めてほしいと思います。(50歳代女性)
- 育児休暇や介護休暇といった制度面での整備は進んだと思いますが、雇用側の意識の低さが大きなハードルになっていると思います。雇用側への支援や罰則規定なども考えるべきではないでしょうか。夫と同じ職種ではありますが、将来的に介護等の問題が出てきた場合、辞めるのは私だろかな、と思います。別に話し合いをしたわけではありませんが、何となくそう思っています。(30歳代女性)
- 義母の介護を任されるのは大変である。夫が自分の親の面倒をしっかりと見るように、意識付けをしてほしい。(50歳代女性)
- 男女が本当に均等でないといけないのでしょうか？夫婦間では、父親は夕方6時まで仕事があるならば、母親はそれより先に仕事を終わらせ、子供を迎えに行き、夕食を作る。逆もあるでしょうが、平等とか均等で無く、分担であればいいと思います。(30歳代女性)
- すでに女性の地位などはあると思うが。これ以上必要ないのでは。男女間の暴力は良くない。(年代性別無回答)
- ことさらに男とか女を意識せず、お互いに人間として尊重し、協力して明るい社会を目指すべきだと思う。大人になって暴力を振るう人は、その生い立ちが大いに関係していると思うので、家族、両親がその生き方に模範を示すべきだ。(70歳代女性)
- 現在の職業においては、ほぼ男女平等のように感じますが、他の職業全てがそうではないと考えます。産休や育休などの子育てにおける配慮を、より充実させていただきたいです。(20歳代女性)

〔男女間の暴力について〕

- 暴力は絶対に許されるべきものでない。被害者がその暴力から守られるためには、社会の多くの人々の協力が必要だという意識がまだまだないように思われる。(40歳代女性)
- 男女間の暴力について、よく警察に連絡していたのに間にあわなかったという事例を耳にします。なんとか助けてあげてほしいと思います。(年代性別無回答)
- 大人も子供も心の余裕がなくなっている現状では、暴力はなくならないと思います。昔は近所にこわいおっちゃん、おばちゃんがいきましたが、最近は他人が子供を注意すると親が逆ギレするような世の中です。(40歳代男性)
- 夫婦間でも言うてはいけない言葉もあるのではないのでしょうか。気にする人はずっと考えます。(50歳代女性)
- 言葉であっても暴力は許されざる行為。暴力シーンを売りにしたテレビやゲームなど、まだ道徳的価値観が十分養われていない子供が影響を受けやすい環境におかれていると思う。いつでも一人で手軽に遊べるゲームが普及しているのにも問題があると思う。子供が内にこもってテレビ画

面と向き合うのではなく子供同士が向き合って遊べる場の提供、親も安心して外に行かせられるような地域の安全の強化なども必要だと思う。(20歳代女性)

- 暴力をふるう男性は幼児期の家庭環境に問題があるように思います。親がしっかりと愛情を注いでいれば、そんな人間には育たないと思います。(30歳代女性)
- 暴力については、親の教育又はマスコミの過剰な表現(本やマンガ、テレビで、人を簡単に殺す、性表現氾濫)。学習指導以前の人としての教育、モラルをどうしていくかが問題と思う。現在の子供の問題はその親の責任でもあるし、その親を育てた戦後の人の問題でもあると思う。(70歳代以上男性)
- DVについて、中・高・大学生の、特に女性への教育が大切。束縛=愛ではないことを知らない女性が心配です。(30歳代女性)
- 中・高生徒に対してデートDV等の勉強をもっとさせる。学校もPTAも勉強してほしい。(60歳代男性)
- 香川県のような田舎では、相談することは家の恥をさらすことと思っている。実際に役場に行く顔見知りや夫の親類がいるわけで、相談窓口へ行くという行動はできないだろうと思う。“こどもSOS”のようなカードを、女性にも頻繁に手に入るように、財布などにそっと入れられるようにしたい。(40歳代女性)
- DVの問題は道徳観、倫理観の低下が原因。キレやすい子供世代が結婚する年齢になったため増えていると思う。メディア(本やDVD)などの影響をマスコミでよく取り上げているが、見る側の未熟さの問題であって発行側の問題ではない。身体は大人、頭は子供の人が多いのが問題。常識やモラルが異常に低下しているので教育面の充実を。(20歳代女性)
- 暴力については罰則を強化する。警察も夫婦間のことでもきちんに対応する。(警察に相談してもきちんとした対応をしなかったため、シェルターに逃げているような人がいる。)(40歳代男性)
- 事件があまりにも多すぎる。テレビ、雑誌の影響も多くあると思う。(50歳代男性)
- 家庭が安定していれば、男女間の暴力は起こらないと思う。景気の悪い中、民間企業の労働条件、賃金などの不満が家庭に持ち込まれ、いざこざが起こることが多い気がする。収入の安定が一番だと思う。(50歳代女性)
- 他人の家庭でのDVについては、ほとんどの人が無関心であり、注意や通報がしにくい。(70歳代以上男性)
- 子供の暴力についての考え方は、自己の家庭環境によって変わるので、家庭での暴力への教育、また親への教育が必要だと思う。(30歳代男性)
- 男女間の暴力についてですが、二人の問題で他人がどこまで入り切れるかが問題ではないでしょうか。それぞれの色があり自分中心に考えるもので、自分の落ち度でマイナスになることはあまり表に出したがないもの。勝手なもので、道徳の教えがほしいものです。大人になっても道徳教育の受けられる教室でもあれば良いのですが。(60歳代女性)
- 暴力とは不満の爆発だと思うが、その前に不満に対する話し合いとか、カウンセリング等が持てないものか?そのようなカウンセリングが身近に利用できるような世相になるようにメディア等を通じて、誘導出来ないものか?(60歳代女性)
- 男女間の暴力はいかなる理由があっても不可。幼児よりしっかり教育が必要である。(60歳代男性)
- まだまだ男尊女卑の考え方が残っている。特に高齢者ほどその意識は高く、冷静さを欠いた時などに暴言を吐いたり、暴力的な行為を家庭内で夫が妻に与えたりする現実がある。夫は仕事さえ努めていれば、家庭では妻が夫に仕えるのがあたり前という考え方で、妻の言い分は口ごたえとしか受け取らず、夫に逆らうべからずと手を上げるようだ。若者にも育児や家事を一身に背負って大変苦勞をしている女性が多い。もっと女性が男性とともに生活を楽しめる社会になることを願う。(60歳代女性)
- 子供をつれて離婚したが、生活をするのが大変で、どこかに相談することを考えることも、そのお金もありませんでした。私は結婚してから殴られたり、物をぶつけられたりしましたが、一度手を上げた男性は直らなかつたです。子供の時にしっかり教えることが大切だと思います。(40歳代女性)
- ドメスティックバイオレンスは家庭に原因があり、親の行いが悪ければ子供は同じことを大きくなってする。どこかで止めなければ代々続くことになる。法律を厳格にして誰が見ても分かるような厳罰が必要。(60歳代男性)